

仏教儀礼の音曲とことば

中世の〈声〉を聴く

宗 教

しば かよの
柴佳世乃著 ▼A5判・上製カバー・予784頁 定価九、九〇〇円

2024年3月刊行



法華経読誦は後白河院の時代を画期に芸道化し、書写山圓教寺で花開いた。読経音曲や如意輪講式など、今は途絶えた儀礼の声に迫る。

【目次】

序論

論考編

第一部 中世の〈声〉——読経、唱導、念仏、和歌

第一章 芸道としての法華経読誦——信仰と〈声〉／第二章 声のルネサンス——読経道にみる中世文化／第三章 和歌の声と読経の声——〈声〉のつらなり／第四章 〈西行〉と読経の声／第五章 念仏と声明——良忍をめぐる〈声〉／第六章 仏教儀礼における〈声〉——読経と唱導の交差、連動

第二部 読経の音曲とことば——読経口伝明鏡集と読経道

第一章 読経道口伝書の生成——『読経口伝明鏡集』著者能誉の周辺／第二章 『沙石集』の道命和泉式部説話——読経道伝承から読み解く／第三章 読経道の成尋阿闍梨説話——読誦と奇瑞／第四章 読経道の相応和尚説話——読誦の秘伝／第五章 読経道と読経音曲——〈声〉の復元に向けて／第六章 平家語りと読経道——書写山をめぐる〈声〉／第七章 伏見宮と法華経談義——心空・鎮増との関わりに触れて

第三部 唱導の音曲とことば——澄憲『如意輪講式』とその周辺

第一章 澄憲と『如意輪講式』——その資料的価値への展望／第二章 『如意輪講式』におけることばと〈声〉——表白・第四段を読む／第三章 如意輪観音信仰の日本における展開——第五段「宿縁厚故門」を読む／第四章 澄憲の講式作成の具体相——『如意輪講式』における経文引用／第五章 澄憲から貞慶へ——『如意輪講式』の改作／第六章 慶政と延朗、法華山寺——『尊師講式』を読む／第七章 金沢文庫唱導資料『堀川院御事』と『発心集』——堀河院を追慕する人々

資料編

読経関連資料

- 一 六所家蔵『読経口伝明鏡集』解題と影印
 - 二 弥勒寺蔵『読経口伝明鏡集』法華経声事』解題と翻刻——書写山伝来と円空書写をめぐる
 - 三 西来寺蔵『義源撰』法華読音』解題と影印、翻刻
 - 四 求法寺南溪蔵所蔵『仁王経文点』解題と翻刻
- #### 唱導関連資料
- 五 大覚寺蔵『澄憲』如意輪講式』解題と翻刻
 - 六 澄憲『如意輪講式』全訓読
 - 七 書写山圓教寺蔵『如意輪講式』解題と翻刻
 - 八 醍醐寺蔵『貞慶作三段式』如意輪講式』解題と翻刻
 - 九 書写山圓教寺蔵『随心如意輪経』『随心如意宝珠転輪秘密観自在菩薩根本陀羅尼経』解題と翻刻——澄憲『如意輪講式』と書写山

結論

初出一覧／あとがき／索引

【著者略歴】

柴佳世乃（しば かよの）
一九六六年 静岡市に生まれる。
一九八九年 お茶の水女子大学文教育学部国文学科卒業。
一九八八年 お茶の水女子大学大学院博士課程人間文化研究科単位取得退学、お茶の水女子大学助手、日本学術振興会特別研究員(PD)を経て、二〇〇一年 千葉大学文学部助教授。
現在、千葉大学大学院人文科学研究科教授。
博士（人文科学）（お茶の水女子大学、二〇〇一年）、第28回財団法人日本古典文学会賞受賞（二〇〇二年）。著書に『読経道の研究』風間書房、二〇〇四年、論文に『山の端の月』考——信仰と詠歌のあいだ（『歌われた風景』笠間書院、二〇〇〇年）、『慶政』金堂本『修治記』を読む——慶政と園城寺、九条家（共著、千葉大学『人文研究』38号、二〇〇九年）など。

注文書	様冊
(書店印)	ご担当
法藏館	定価 九、九〇〇円
柴佳世乃著	住所
仏教儀礼の音曲とことば	お電話
中世の〈声〉を聴く	お名前
ISBN:978-4-8318-6283-9 C3091	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp